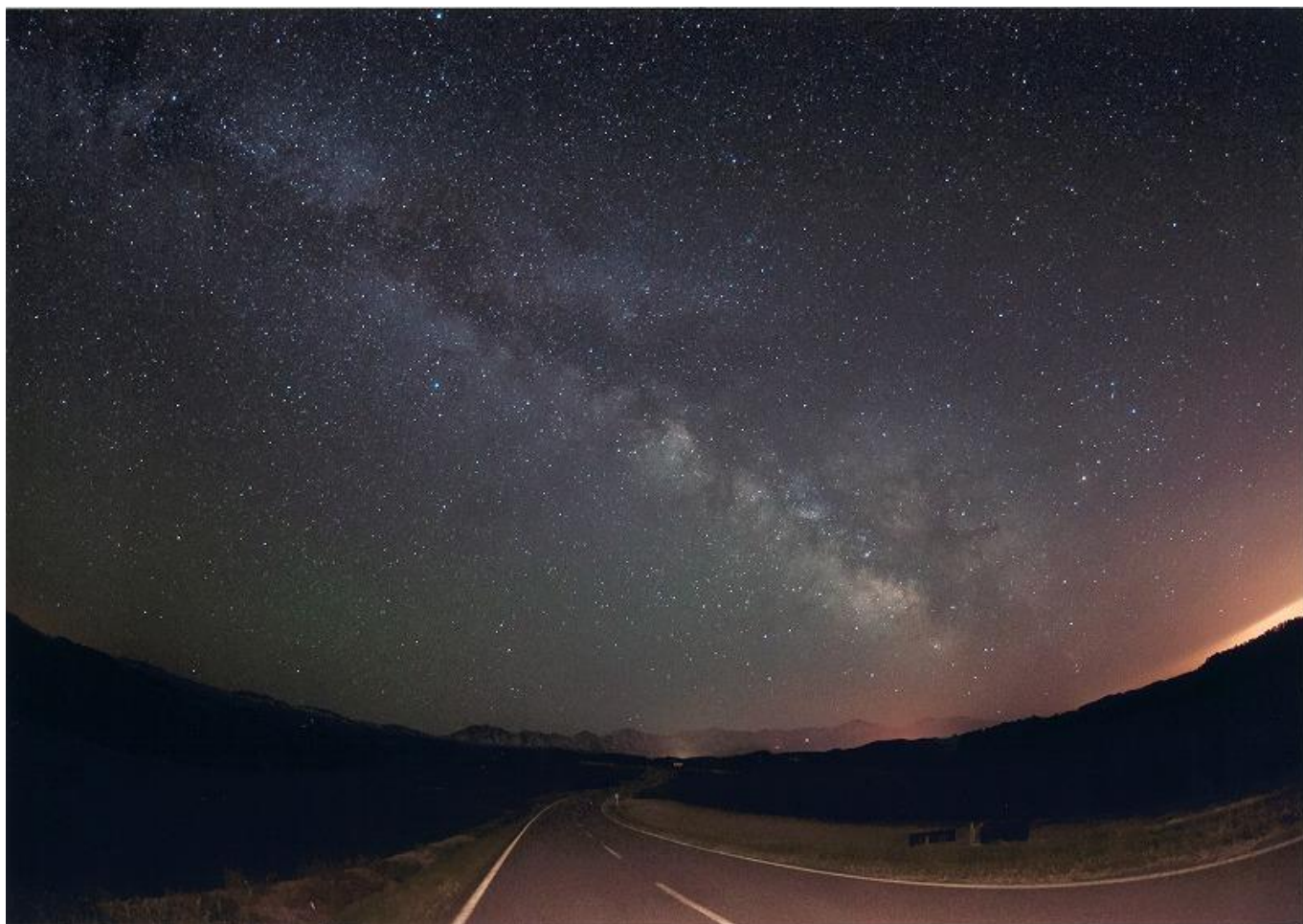


星景写真コンテスト入賞作品目録



一席「スターライン」岡田 泰秀さん（北海道）

北海道美瑛町と言えば特産のラベンダーと共に星空の美しい場所の一つに数えられている所です。見渡す限りの星降る夜空、その星空の下に遥かに延びる一条の道路。この道路の行く先に重なるように夏の天の川が流れ落ちます。夏至が近づいた夜半の北海道ではまだ人々の生活の名残が西空に残ります。道の行く先と天の川の流れ行く先に人の生活を見ることができます。大きく広がった北海道の地ならではの構図、その上の星空。発色も自然で、親しみのもてる作品です。

※掲載した作品は、カラー印刷時に作品本来の質が損なわれております。ご了承ください。

※入賞作品は、鳥取さじアストロパーク公式ホームページにも掲載しています。

第20回鳥取市さじアストロパーク星景写真コンテスト

☆主 催☆ 鳥取市さじアストロパーク

☆協 力☆ 写友会カプリシヤス、鳥取天文協会

☆協 賛☆ 中央光学、テレスコープセンターアイベル、天文ハウスTOMITA、
(株)中井脩、三鷹光器(株)

☆後 援☆ (株)さじ式拾壺、星ナビ編集部&AstroArts

☆募集期間☆ 平成25年12月1日(日)～平成26年1月14日(火)

☆応募結果☆ 131点(71名)

☆審 査☆ 委員長/佐治天文台台長・香西洋樹

委員/鳥取市さじアストロパーク副所長・山西正博、主幹・宮本敦、主任・相本実、主任・織部隆明



第20回鳥取市さじアストロパーク星景写真コンテスト 総評

審査委員長 香西洋樹(佐治天文台長)

佐治天文台は、今年(2014年)で開設以来、満20年を迎えます。天文台開設以来20年にわたり続けて来たこのコンテストも、前回までと同様「星のある風景」をモチーフにした「星景写真」を全国的に募集いたしました。その結果、北海道から四国・九州、さらに沖縄に渡る全国各地から、71名により131点の作品が寄せられました。応募頂いた方々の年齢は、前回までよりさらに若返り10歳未満の方から70歳以上の老齢の方までの年齢層に広がりました。このように年代幅が広がったことは星空、言い換えると人と宇宙についての関心が深まったことを示しているのではないかと考えています。今回、応募された作品を拝見するとき、作者自身の自然との関わりや、自然観、さらに人生観などを感じさせられるような作品が数多くありました。入選作品については個々に選評を書くことにいたしますが、全応募作品とも作者自身で納得し、厳選された上での応募であることを、如実に感じさせられました。一方、作者の作品に対する強い愛着心から、余分ではないかと思われる部分が残されたり、また星が主役なのか風景が主役なのか判り難い作品もあり、これ等がかえって作品の印象を弱める結果を招いている作品もあり残念でした。格段の進歩が見られたデジタルカメラとプリンターについては、画素数や色調も、天体、特に星の像を点像として描出する能力が格段に進歩、向上したことに驚かされます。デジタルカメラと画像処理、さらに高画質プリンターの普及により、天体を含むテーマがより身近になったことは素晴らしいことに違いありません。応募作品を拝見し、回を重ねるごとに完成度が向上したことを強く感じ、さらにこれまでの応募者に加えて、多くの初応募の方や若い愛好者があったことも大きな喜びでした。写真が手軽に撮影でき、身近になってきた一方で、天体を含む自然の写真に対して関心が低下してきていると危惧する声も聞かれます。星空と我々の生活の営み、何時までも皆様と共有していきたいものです。

最後に、このコンテストを催すにあたり、多くの方々にご協賛・ご後援をいただきました。主催者として、この場を借りて深く感謝を申し上げます。(2014年2月18日)



二席「棚田に映るカシオペア」

楠本 毅さん(香川県)

棚田にカシオペアが映えます。以前、田毎の月と題した日本画を見たことがあります。田毎の月とは、水田の一枚ごとに月が映えていると思ったのでしょうか、水田の一枚ごとに月が描かれていて誠に不自然な作品でした。それにもかかわらず入選になっていて撰者の目を疑ったのでした。

この楠本さんの作品は、手前の一枚の水田にカシオペアが映え他の水田と併せて夜空を上下二段として見ることができます。水田は田植え前でしょうか、人家の灯りがそこの生活をしのばせます。静かに更けゆく、棚田を取り巻く自然の雰囲気。情感の溢れる作品になりました。

三席「天地の饗宴」増田 弘さん(広島県)



満天の星空と満開の桜。作者のみならず誰しものが感動する日本の春。夜空にスックと立ち枝を延ばした桜。昨年のNHK大河ドラマ「八重の桜」のタイトルバックを思い出しました。気高く強く夜空を背に孤高を示します。この桜、一本立ちのヤマザクラ、薄い桜色の花はライトアップのせいでしょうか。織女星（ベガ）が樹上で、牽牛星（アルタイル）が右上で共に見下ろします。

三席「穂高に沈む冬星」田淵 典子さん(神奈川県)



遅い春。山並みは残雪が多く夜空に浮き上がります。西に低く、冬の王者「オリオン」がまさに沈もうとしています。北アルプスの展望台と言われる蝶が岳からの撮影。夕陽の残照と、西方の街明かりは飛騨高山などで人々の生活の場。明るく輝く一等星が存在を主張しています。人の生活と山岳星空写真の醍醐味はこんな所で味わえるのでしょうか。美しい作品です。



特別賞

「桜咲く頃」佐藤 嘉恭さん(新潟県)

「銀河鉄道に乗って：慟哭の壁面」佐藤 崇さん(宮城県)





特別賞

「棚田を見下ろすさそり座と天の川」鳥羽 聖朋さん(兵庫県)

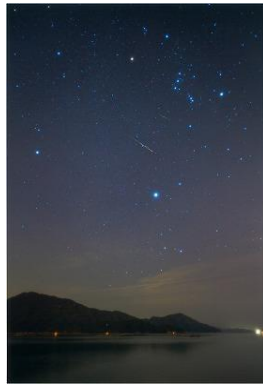
「オリオンへの願い」長浜 ユカリさん(宮崎県)



佳作



「波照間島観測タワーと天の川」
入江 中さん(沖縄県)



「宮島の冬の星空」
中西 直樹さん(広島県)



「オリオンへ続く道」
原野 哲也さん(岡山県)



「天国への階段」
田中 寿典さん(徳島県)



「浜の共演」
芝崎 静雄さん(愛媛県)



「暮夜の山里」
大島 学さん(岡山県)



「晴れたよー 天の川だー！」
深島 智徳さん(富山県)



「冬路」内山 しおりさん
(愛知県)



「モンスターたちの夜」
川崎 淳一さん(宮城県)



「ソラを見上げて」
福永 崇平さん(大阪府)

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1 TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

<http://www.saji.city.tottori.lg.jp/saji103/> e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp